

平成26年度宍粟市予算決算常任委員会（決算委員会）会議録（第1日目）

日 時 平成26年9月11日（木曜日）

場 所 宍粟市役所議場

開 会 9月11日 午後 0時07分

議 題

（1）委員長の互選

（2）副委員長の互選

（3）その他

・審査要領等について

・担当者の役割分担について

出席委員（8名）

委員長	秋田裕三	副委員長	西本諭
委員	鈴木浩之	委員	小林健志
〃	飯田吉則	〃	東豊俊
〃	林克治	〃	高山政信

欠席委員（1名）

委員 岡前治生

事務局

局長	中村司	課長	前田正人
主幹	清水圭子	主幹	原田渉

(午後 0時07分 開議)

中村事務局長 ただいまより、決算特別委員会を開会いたします。

委員会の議事進行につきましては、委員長の選任までは年長の委員がその職務を行うよう、委員会条例で規定がございます。

東委員が年長でいらっしゃると思いますので、委員長選任までの議事進行について、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、よろしくお願ひします。

東臨時委員長 私が委員会条例第10条第2項の規定により、最年長のゆえをもって、この会議の議事進行をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

皆さんのお手元に次第をお配りしております。

早速3番、議題に入りたいと思ひます。

(1)委員長の互選、(2)副委員長の互選、(3)その他、審査要領等についてと、こうなっておりますので、まず(1)の委員長の互選に入りたいと思ひます。

委員長の互選につきましては、皆さん御案内のとおりですけれども、立候補、いわゆる自薦、それから推薦、いわゆる他薦と、この両方がありますので順番に進めていきたいと思ひます。

皆さんの中から委員長に立候補しようとする方がおられましたら、どうぞ挙手をお願ひいたします。

ありませんか。

(「なし」の声あり)

東臨時委員長 ないようですので、続きまして推薦、いわゆる他薦に入りたいと思ひますけれども、皆さんのほうで推薦、他薦の声がありましたら、どうぞ挙手の上、お願ひいたします。

小林委員、どうぞ。

小林委員 私、推薦をしたいと思ひます。総務委員長でありまして、非常にお忙しいと思うんですが、秋田委員を委員長に推薦をいたします。

東臨時委員長 今、小林委員から委員長に秋田委員を推薦という声が出ましたけれども、ほかにはないでしょうか。

(「なし」の声あり)

東臨時委員長 ほかにないようでしたら、小林委員の推薦に賛同される方は拍手をお願ひしたいと思ひます。

(全員拍手)

東臨時委員長 全員拍手になりましたので、秋田委員長、よろしく願いをいたします。

それでは、委員長が決定をしましたので、この後は委員長により、この会を進めていただくようお願いをいたします。

秋田委員長 ただいま小林委員から推薦を受けまして、皆様の拍手を頂戴したということでもありますので、慎んでお受けいたします。

先輩議員から指名していただくということは、また励みにもなるかと思いますので頑張りたいと思います。精いっぱい務めますので、御協力のほどをお願いをいたします。

それでは、続きまして、副委員長の選任を行いたいと思います。

副委員長に立候補の方、ございませんか。

ありませんか。

(「なし」の声あり)

秋田委員長 ないようでありますので、それでは、どなたか副委員長互選の意見はありませんか。

小林委員。

小林委員 委員長に大変御無理を言いましたものですから、委員長に副委員長の互選をしていただきたいと、このように思うんですけど、いかがですか。

秋田委員長 案はないんですけども。

東委員 小林委員の意見に賛成します。

秋田委員長 ただいま副委員長を委員長が指名せよという意見であります、あえて聞きますが、ありませんか。

はい、どうぞ。

鈴木委員 その制度というのは成り立つんですか。その委員長に指名せよという意見が成立するのかということです。

秋田委員長 そういう意見だということです。だから、そういう意見が出たというだけです。私、まだそれを受けると言うてませんや。

鈴木委員 じゃあ、制度としては成り立たないということですか。

秋田委員長 いやいやそういう意味じゃなしに、制度じゃなしに、立候補が1番優先で、2番が互選であります。その手順で諮っているところでもありますけれど。

鈴木委員 はい、わかりました。

東委員 今、小林委員の言った意見に私は賛成と言いましたけども、その賛否を

とっていただいて、それが賛成が多ければ、そのように運んだらいいかなと思う意見を言います。

秋田委員長 ただいま東委員からそのような申し出がありました。皆さんにお諮りしたいと思います。

委員長が指名せよという意見が出ておりますが、そのことのお諮りをしたいと思います。

その意見に賛成の方、挙手をお願いします。

(挙手多数)

秋田委員長 賛成多数、5票であります。

それでは、委員長からの推薦をまずしたいと思いますが、会派が重ならないようにしたいと思いますので、西本委員、副委員長就任を要請いたしますが、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

西本委員 私そのものは体調もまだ完全じゃなくて、非常に厳しいと思うんですけども。できたらほかの方はだめでしょうか。私自身の体調がまだ完全ではないので、御迷惑をかけるかもわからないので、ほかの方はどうでしょうかという、私の意見です。

秋田委員長 体調不良か。

その他の意見。

林委員。

林委員 個人の事情をいろいろ言いよったら切りがないと思うんです。ほんまに寝込むほど体調が悪いんやったら、誰も頼みますと言わんと思うんで、それ以外なら受けてもらわんと、後が決まらんと思います、かわられても。

秋田委員長 はい、どうぞ。

飯田委員 私も林委員の御意見に賛同いたします。

秋田委員長 それでは、西本副委員長を私としては指名をお願いしたところでありますが、皆様の御賛同をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手多数)

秋田委員長 それでは、西本さん、そういうことでお願いします。

それでは、西本副委員長のうなずきも出ましたので、副委員長ということでお願いをします。

ちょっとお諮りを元へ戻します。ただいま事務局からアドバイスがありましたん

で、ちょっと元へ戻します。

指名推選の場合は、全会一致でないといけないという規定があるそうでもありますので、再確認をいたしますが、挙手をお願いします。

西本副委員長就任に賛成の方、挙手をお願いします。

(挙手全員)

秋田委員長 全員一致でありました。

そういうことありますので確認しました。西本副委員長、決定であります。

それでは、審査要領等、後日の日程を確認しておきたいと思います。

その他審査要領ですね、日程は別紙のとおりになっております。もう1ページの今日の分の裏返しを見てください。

質疑その他はなるべく通告でお願いしたいと思います。通告優先でいきます。

それから、担当者の役割分担についてであります。各部局ごとに担当者を割り振っていきまして、担当部分の主な意見、質疑等をまとめていただきたいと思えます。

これは、各担当部局、この資料を見てください。12日以降のずっと割り振りがしてあります。これをずっと全部が終わりました時点で、総まとめの報告書を書き上げないけんわけですけれども、民生、産建、総務、それぞれ担当別に、専門別に多少分かりますので、各委員全員で割り振ってまとめをつくり上げたいと、最終的にはそういう予定を考えていきます。

それでは、今日のうちに、ちょっとお昼過ぎておりますけれども、この担当別のところのまとめの当番の割り当てを決めていきたいと思えます。

まず、俺がここをやってやるというところがありましたら。ありませんか。いずれはどっかは当たりますから。

(「なし」の声あり)

秋田委員長 ないですか。

高山副議長。

高山委員 担当委員会で。

秋田委員長 担当委員会で分けられればいいです。

東委員 9月12日の企画総務部と選挙管理委員会は担当させていただきます。

秋田委員長 じゃあ、東委員、企画総務・選管。

小林委員 17日の建設部。

秋田委員長 建設部、小林委員。

飯田委員 16日の産業部。

秋田委員長 16日、産業部、午後の部やな、飯田委員。

ほか名乗り出てください。関係部門。

鈴木委員 教育委員会。

秋田委員長 鈴木委員、教育委員会。

あと、関係部門。

高山委員 市民生活部。

秋田委員長 市民生活部、12日。

あとは。

鈴木委員 健康福祉部。

秋田委員長 健康福祉部、18日の午前中のとこ、鈴木委員。

林さん、どこやってくれる。

林委員 日にちで言うのか、部ごとに言うんかいな。

私、議会事務局。

秋田委員長 誰、総合病院やってくれるん。

高山委員 総合病院と市民生活部。

秋田委員長 総合病院、高山委員。

西本委員 まちづくり。

秋田委員長 まちづくり、西本さん。

秋田委員長 市民生活部は誰だ。高山さん、はい。

はい、決定。大体それで埋まったかいね。大体埋まったね。

鈴木委員 岡前委員が戻ってこられたら、まちづくりと福祉関係と教育委員会、教育委員会とかは分けざるを得ないと思うんで、それをちょっと総務の中で調整しますので、まちづくりも僕一応今担当ということで預かります。

秋田委員長 岡前へ割り当て。大体これで埋まったか。

西本委員、健康福祉部のとこ。

西本委員 はい。

秋田委員長 大体これで埋まったね。

委員長席からお願いするんですけれども、このまとめの報告書を上げるときに、現実には1部門1,000文字程度で原稿用紙2枚ちょっとになるかと思うんですけども、膨大な量になるんでね、10数ページを超えenと思いますんで、正副だけではとてもできないとこなんで、今それぞれの所属の専門性を多少持って、各担当議員に

割り振って、その報告書を私のほうにいただいて、それから部分的に報告しやすく多少加筆したり、削除したりするものも出てきますけれども、それをまとめて26日のほうに報告をするという運びになろうかと思しますので、その要領でお願いをいたします。

なお、各部局の説明の割り当て時間、約半日ずつになろうかと思します。お昼超さないように進めたいと、このように考えておりますので、御協力のほどお願いを申し上げます。

では、本日の決定内容は、小委員会のスタートとしてはここまでするので、明日12日から本番になりますので、体調を整えて出席のほど、お願いを申し上げます。

どうかよろしく申し上げます。

これにて終わります。

(午後 0時27分 散会)